

SUMOTO

洲本

洲本市市勢要覧
The City Sumoto Municipal Handbook
2015



発行/洲本市

〒656-8686 兵庫県洲本市本町三丁目4番10号

TEL 0799-22-3321(代)

URL <http://www.city.sumoto.lg.jp/>

S u m o t o c i t y



つながるまち 洲本

洲本市市勢要覧2015

contents

- 2 洲本へのアクセス
- 4 彩り豊かなまち
- 6 趣きさまざまなまち
- 8 洲本の歴史
- 14 未来へと続くまちづくり
- 20 伝統のまつり
- 22 魅力いっぱい御食国
- 24 暮らしの施設
- 26 シティマップ
- 28 洲本ゆかりの人々

洲本市民憲章

平成二十年十月一日制定

私たちは、ふるさと洲本市を愛し、
洲本市民としての誇りと自覚を持ち、
明るく住みよい元気なまちづくりを
めざして、この憲章を定めます。

一、私たちは洲本市民は、自然を大切
にして環境にやさしい美しいま
ちづくりをします。

一、私たちは洲本市民は、郷土の歴史
と伝統に学び、文化の薫り高い
まちづくりをします。

一、私たちは洲本市民は、人をうやま
い、人をほぐくみ、共に助け合
うまちづくりをします。

一、私たちは洲本市民は、生命を大切
にし、お互いを尊重するまちづ
くりをします。

一、私たちは洲本市民は、働くことに
誇りとよろこびをもち、活力あ
るまちづくりをします。





洲本市街地 Central urban area of Sumoto City

五色地域 Goshiki area



洲本へのアクセス

瀬戸内海の東に浮かぶ国生み神話の島「淡路島」。本市は島の中央に位置し、昔から島の中心都市として栄えてきました。

古くは阪神間の奥座敷と呼ばれましたが、今では「神戸淡路鳴門自動車道」によって、神戸市まで1時間、大阪まで2時間の阪神地域の通勤圏となっています。

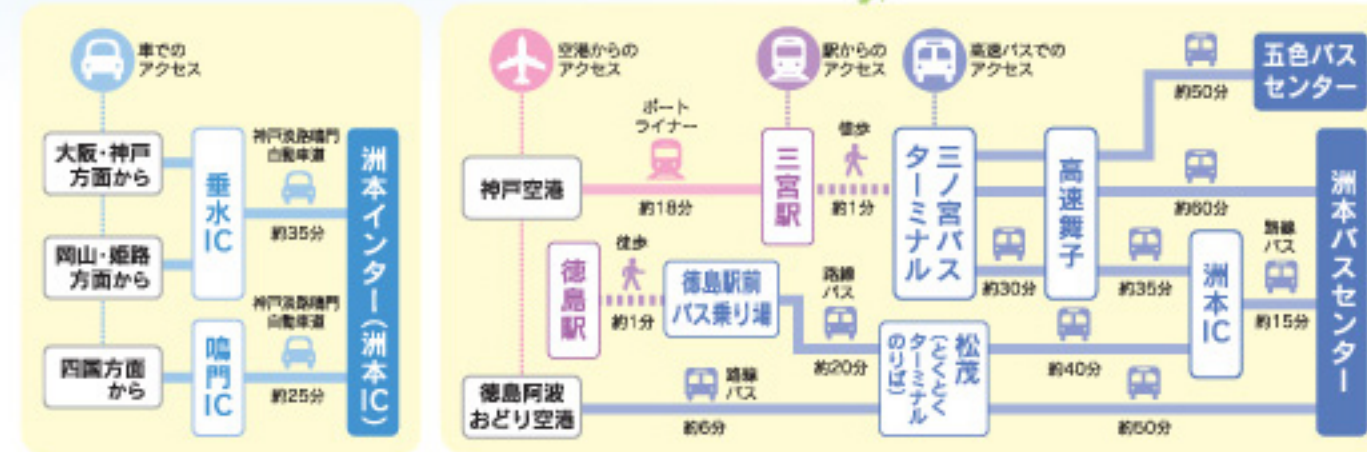
また、神戸空港、徳島空港を利用すれば洲本から3時間余りで首都圏に行くこともでき、都会に近い田舎「トカイナカ」として、注目されるまちです。

◆位置 東経 134°54' 北緯 34°21'

東西の距離 20.1km 南北の距離 20.8km

◆面積 182.38km²

アクセス方法





淡路橋立 成ヶ島

Narugashima Island, known as "The Awaji Hashidate"

成ヶ島は洲本市の南東の端、幅約15～330m、南北約3kmの風光明媚な無人島です。その姿は「淡路橋立」と称されています。



スイセン
Daffodils



ハマボウ
Hibiscus himabo

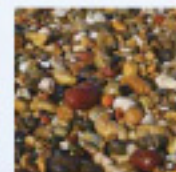


アカウミガメ
Loggerhead sea turtle
(Caretta caretta)

淡路富士 先山

Mt. Senzan,
known as "The Awaji Fuji"

国生み神所で、淡路島が誕生したとき、最初にできた山が先山といわれています。その姿は、威風堂々とし、淡路富士とも呼ばれています。



さまざまに輝く 五色浜

Multi-colored pebbles on
Goshiki-hama Beach

約4kmに及び五色の小石が浜を敷き詰めています。



春を告げる菜の花

Rape blossoms usher
in the spring

黄色に染まった菜の花畑。人々の心を和ませる効果があるだけでなく、エコプロジェクトの中心的な役割を担っています。

鮮やかに染まる夕日

Sunset from Goshiki

淡路島西海岸を走るサンセットライン(県道31号線)は絶景を一望できます。特に新都市海水浴場から小豆島の島影にゆっくり沈む夕日は絶景です。

季節の色に映える 鮎屋の滝

Alya falls which reflects the beauty and
colours of each season

落差14.5mの滝。春の新緑や夏のホタル、秋の紅葉が滝に映えて美しく、園路で近くまで行くことができます。



彩り豊かなまち

色とりどりに
映える自然

新緑萌える山、
黄色く染まる菜の花、
青色に輝く海、
オレンジ色の黄昏。
季節や見る場所によって、
さまざまな彩りが多くの人に
感動を与えます。

Colorful Natural Beauty

Enjoying nature enriches
people's lives

The Verdant green of the mountain areas the yellow fields of rape blossoms, the brilliant blue-green sea, and the spectacular orange sunsets—people can enjoy nature in many special spots around Shikoto in every season.



白砂青松の砂浜海岸 大浜

Ohama Beach

中心市街地から徒歩で5分。松並木と白砂が印象的なビーチです。



**積み重ねた上に
今がある**

幾重にも石を積み上げ作られた石垣。
この石垣の石のように
歴史は洲本の礎であり、
一つでも欠けてはいけない
ものなのです。

国指定史跡 洲本城と模擬天守

Reconstructed keep of Sumoto Castle, a nationally designated historic site.
大坂湾に囲みを利かせる山城としての側面と、水軍の城としての機能的な面を併せもつ、壮大で重厚な構えをもつ城です。

Historical and Cultural Assets

Our long history provides
a strong foundation

Stone walls are built one stone at a time and each event
in the long history of Sumoto is like a stone, building a
strong foundation for the future.

趣き
さまざまなまち



名勝 旧益習館 庭園

Kyo-Ekishukan Teien (Edo-period garden)

益習館は稲田家が家臣らの子弟教育のために設立した学問所でした。その庭園は、巨岩の自然石を巧みに生かした池泉回遊式の武家らしい豪華な庭園です。



蓮花寺 羅漢堂 五百羅漢

500 Rakan (disciples of the Buddha)

堂内には、さまざまな表情、
姿をした羅漢像が500余り
坐んでいます。

鳥飼八幡宮の懸仏

Kakebotoko, hanging plates of Buddha
at Torikai Hachiman Shrine

阿弥陀三尊や阿弥陀如来、勢至菩薩
など、13面が伝わる。時代も平安、
鎌倉、南北朝、室町時代と異なる
時代のものが伝えられています。



阿弥陀三尊



十一面観音



鳥飼八幡宮の神輿

Phoenix decoration of a Portable shrine at Torikai
Hachiman Shrine

平安時代後葉の久安6年(1150年)近衛天皇の母君、
美福門院得子が石清水八幡宮に奉納した15基のう
ちの1基で、沃懸地鍍金銅装神輿(いかけじらで
んこんどうそうしんよ)と呼ばれています。鎌倉時
代の特徴を持つ神輿で、国指定の重要文化財です。

歴史の証言

由良要塞砲台跡

Site of the Yura Fortress Battery

明治29年(1896年)、阪神間防衛の拠点として開設された山良
要塞司令部。東京湾要塞に次ぐ日本で2番目に重要な要塞司
令部でした。銃戦により多くの施設は破壊されましたが、弾
薬庫などの一部が今に残ります。



まちを揺るがした大騒動 庚午事変(稲田騒動)

Kogo Incident of 1870
(Isada revolt against Tokushima)

歴史トピック
2

江戸時代、徳島藩蜂須賀家の筆頭家老であった稲田氏は、阿波と淡路に1万4500石の大名並みの家禄が与えられ、多くの家臣を抱えていました。

幕末の激動期、徳島藩は、公武合体派でしたが、稲田氏は尊王派として明治新政府誕生に貢献しました。ところが、明治2(1869)年の版籍奉還で、稲田家臣が卒族に編入されたことなどから、稲田家臣は、士族編入、分藩独立を新政府に働きかけました。しかし、そのことが徳島藩士の一部を刺激、洲本在住の徳島藩士が稲田氏やその家臣の屋敷などを襲撃し、稲田家臣は抵抗することなく、死者17名、重症者6名、焼失家屋多数の大事件となりました。

事態を重く見た明治政府は、首謀者10名を切腹(日本の刑法史上、最後の切腹といわれている)などの処分を行うとともに、稲田家臣を士族に編入し、北海道日高国静内(現新ひだか町)へ移住を命じました。

この事件を題材に、船山馨が小説「お登勢」を書き、平成13年には沢口靖子主演でNHKのテレビドラマになりました。また、吉永小百合主演の映画「北の零年」は、北海道に渡った稲田家臣団の労苦を描いたものです。



江国寺の招魂碑
(稲田家臣)
Monument at Kokokuji Temple



専称寺の庚午志士碑
(徳島藩士)
Monument at Somboku Temple



洲本城内にあった御殿の
一部を移築した金天閣
Katsukaku, a section of Sumoto
Castle relocated to
Sumoto Hachimama Shrine



稲田家の家紋入衝立
Partition screens decorated with the
family insignia of the
Isada Clan

江戸時代になると、脇坂氏が伊予に移り、池田氏の支配を経て、徳島藩主蜂須賀氏が淡路一国を領有することとなります。

蜂須賀氏は、淡路支配の拠点を由良から洲本に移し(由良引け)、三熊山山麓に洲本御殿を築き、これを中心に城下町を築きます。

この淡路支配を主に任されたのが、筆頭家老の稲田氏です。稲田氏は、石高一万四千五百石に及び、歴代当主は洲本仕置や洲本城代に任ぜられました。現在も、城下町の町割りがよく残っており、当時の絵図を見ながら、町歩きを楽しむことができます。

幕末になると、大阪湾防衛のため、幕命により洲本にも台場(砲台)が築かれます。由良の高崎台場や炬口台場は、今も当時の石垣が残る、県下でも貴重な文化遺産です。その後台場は、新政府により陸軍要塞へと



由良の高崎砲台場図
Illustration of the Takasaki Battery in Yura

変貌し、堡塁砲台が築造されました。

明治3年に起った庚午事変の後、淡路は徳島から切り離され兵庫県に編入されることとなりました。

城下町の絵図
Illustration of the castle town of Sumoto

明治4(1871)	明治3(1870)	明治2(1869)	文久3(1863)	文久1(1861)	安政1(1854)	天保12(1841)	文化9(1812)	文化5(1808)	寛政10(1798)	寛政1(1789)	天明2(1782)	明和6(1769)	延享年間	元禄3(1690)	寛永8(1631)	元和2(1616)	元和1(1615)	慶長18(1613)	慶長14(1609)
稲田家臣団 北海道日高国静内に移住、淡路島全域が名東県に属する	庚午事変(稲田騒動)	阿波・淡路の一部(津名郡四三村浦は兵庫県が徳島藩となる)	將軍家茂 由良高崎砲台場検分	由良高崎砲台場完成	徳島藩 幕命により洲本・由良に台場築城開始 稲田家臣団を下屋敷に移し「益習館」と称す	安倍喜平 生まれる	高田屋嘉兵衛 ロシアに抑留される	伊能忠敬 測量のため来島	落校洲本学問所ができる	由良生石を擲削 成ヶ島誕生	天明の饑饉(後藤の百姓一揆)	高田屋嘉兵衛 都志に生まれる	稲田氏の私塾学問所が中屋敷にできる	だんじりが洲本の祭礼に初めて登場	淡路支配の拠点を由良から洲本に移す(由良引け)	筆頭家老稲田示種 由良城代に	大阪の陣の功により蜂須賀至鎮に淡路一国加増、これより淡路は徳島藩となる	池田忠雄、岩屋から由良に城を移す	臨坂安治 伊予大洲に転封、池田御政に淡路加増、岩屋に城を築き三男忠雄に分与



洲本の“まち”を大改造

Major Renovations in the Sumoto Town Area

歴史トピック
3

洲本のまちにとって一大転機となったのが、明治37年に竣工した、洲本川の河川改修事業でした。たびたび氾濫し、水害が絶えなかった洲本川の付け替えと港湾の近代化整備を行い、埋立地に紡績工場を誘致しました。当時の町予算10年分の事業は、まさに100年の計を見据えたものでした。時の洲本町長、岩田康郎は自ら買取交渉にのぞみ、苦難の末に事業を完成させました。

その後、紡績工場は次々と事業を拡大し、洲本のまちは企業城下町として発展します。昭和52年、洲本のまちを支えた紡績工場は撤退し、従業員の社宅跡地、工場跡地などが残されました。

平成6年から新しいまちの中心になるよう、再開発が始まりました。特に古いレンガ造りの建物が図書館やレストランとして再利用され、新しい魅力を生んでいます。

また、大規模ショッピングセンター、バスセンター、文化体育館、県立淡路医療センターが建設され、洲本の新しいまちの顔となっています。



洲本アルチザンスクエア
Sumoto Artisan Square



洲本川
Sumoto River



紡績工場の様子
Textile plants in Sumoto



洲本川付け替え図
Illustration depicting the re-routing of Sumoto River

岩田康郎氏像
Bust of Iwata Yasuo

明治6 (1873)	岩野泡鳴 洲本馬場町に生まれる
明治8 (1875)	洲本郵便局設置
明治9 (1876)	名東県廃止 淡路島全域が兵庫県に属す 洲本区裁判所開設
明治10 (1877)	洲本警察署設置、淡路新聞創刊
明治12 (1889)	県下で初めて公立の洲本中学校設立
明治13 (1880)	淡路汽船会社設立
明治17 (1884)	洲本博覧会開催
明治22 (1889)	洲本町町制開始 大恩救庚午事変関係者全員赦免、 由良生石山砲台起工、これより由良要塞の堡 壘砲台築造はじまる
明治26 (1893)	三島徳七博士 広石に生まれる
明治27 (1894)	由良重砲兵隊創設
明治29 (1896)	淡路紡績会社設立、 由良要塞司令部開設
明治33 (1900)	鐘淵紡績が淡路紡績を買収し洲本に進出
明治37 (1904)	洲本河川付け替
明治39 (1906)	淡路銀行開業
明治42 (1909)	鐘紡洲本工場建設
大正3 (1914)	淡路鉄道株式会社設立
昭和3 (1928)	御大典記念として洲本城模擬天守閣建築
昭和12 (1937)	阿久悠 鮎原に生まれる
昭和15 (1940)	洲本市市制開始
昭和21 (1946)	南海地震で洲本も被害
昭和31 (1956)	五色町発足
昭和35 (1960)	洲本商工会議所発足
昭和60 (1985)	大鳴門橋と淡路経貫道一部区間完成
平成7 (1995)	阪神・淡路大震災
平成10 (1998)	明石海峡大橋開通
平成11 (1999)	洲本城跡 国指定史跡に
平成18 (2006)	平成の大合併で洲本市と五色町が合併

未来へと続く まちづくり

Town Planning for a Bright Future

Clean Energy in Our Lives Renewable Energy Projects

The city of Sumoto is participating in an island-wide prefectural project to be a model for sustainable energy with initiatives such as biomass. Through our town planning, we collaborate with both industrial and academic experts in order to work and live harmoniously with the natural environment.

Energy installations include solar panels on public facilities and wind turbines on the west coast. Eco-projects include producing edible oils from rapeseed and sunflower, the refinement of biofuels, and public education related to such efforts. By using clean energy, Sumoto aims to better manage risks from environmental change and natural disasters and build a society focused on sustainability and environmental conservation.



エネルギー作物として注目されるひまわり
Sunflowers as energy-producing products



菜の花からの搾油
Processing oil from rapeseeds



太陽光発電パネル
Solar panels

電気自動車充電スポット
Electric vehicle charging spot



バイオ燃料で走る菜の花・ひまわりエコプロジェクトバス
Eco-project bus that runs on biofuel

洲本市は、あわじ環境未来島特区の指定、エネルギーパークとバイオマス産業都市の認定を受け、地域の自然や産業に根ざした環境との共生をめざすまちづくりを、産学官連携で進めています。

公共施設での太陽光発電施設や西海岸での風力発電施設の設置、菜の花・ひまわりエコプロジェクトによる食用植物油の生産やバイオ燃料の精製、

クリーンエネルギーをくらしに

エネルギーパーク洲本

各施設での普及啓発活動など、こうしたクリーンエネルギーの活用によって、洲本市は、環境の変化や災害のリスクに強く、人と自然にやさしいまちとなることをめざしています。



お帰りなさい
プロジェクト

このプロジェクトは洲本市の魅力を感じ、住みたいと思う人や故郷にUターンする本市出身者を応援する定住促進事業。「住んでよかった、これからもずっと住み続けたいと思うまち」をめざしています。

Welcome-Back Project

This project aims to facilitate the return of young people to the island and extend an invitation to new people interested in the charm of Sumoto. We want young people to put down their roots here and come to appreciate the many wonderful things Sumoto has to offer.



徳島県美馬市
Mima City, Tokushima

美馬市(旧脇町)は江戸時代、洲本に居城した稲田氏が初代・植元の時に城主として移り住んだ城下町。ともに稲田氏ゆかりの地として交流を深めてきました。

平成2年9月9日 姉妹都市提携

姉妹都市



北海道日高郡新ひだか町
Shinhidaka Town, Hidaka-gun, Hokkaido

新ひだか町(旧静内町)は、明治3(1870)年に起こった「庚午事変」によって、北海道開拓移住を命じられた洲本城代稲田氏とその家臣らが開拓したまちです。

昭和61年5月2日 姉妹都市提携



アメリカ合衆国
ハワイ州ハワイ郡
Hawaii County, Hawaii

洲本市国際交流協会を中心に交流がはじまり、例年夏休みには高校生の短期ホームステイ派遣を行い、交流を深めています。

平成12年11月21日 姉妹都市提携



アメリカ合衆国
オハイオ州ヴァンワート市
Van Wert, Ohio

平成5年の旧五色町時代に友好都市調査団が派遣され、交流がはじまりました。その後、中学生の派遣や訪問団の受入れなど市民レベルで交流が行われてきました。

平成8年2月14日 姉妹都市提携



ロシア連邦
クロンシュタット区
Kronshtadt, Russia

ゴローニン事件にかかわるゴローニンとリコルドが出会い、学んだ海軍のまちクロンシュタット。嘉兵衛や彼らの子孫交流をきっかけに、旧五色町と姉妹都市交流がはじまりました。

平成13年7月16日 姉妹都市提携

アスリートネット ワーク in すもと

Athlete Network in Sumoto

五輪メダリストらの技術や経歴を子どもたちに伝え、将来世界に通用するアスリートにと夢が膨らみます。



元旦歩こう会

New Year's Day Walk

五色地域で30年以上前に始まった新年の恒例行事。家族や友人らと、それぞれが思いのペースで先山の頂上にある千光寺をめざして歩きます。

交流フェスタ in すもと

Exchange Festival in Sumoto

合宿などで本市に滞在する団体との交流も盛に行われています。写真は佐渡裕氏率いるスーパーキッズオーケストラ。



すもとマラソン

Sumoto Marathon

自然豊かなコースと地元産の食材を使ったおもてなしが魅力の市民マラソン。全国から約2,000人を超える市民ランナーが健脚を競います。



城下町洲本 レトロなまち歩き

Sumoto Retro Town Walk

城下町の名残ある街並みを歩くイベント。春秋の開催時には島内外から大勢の人々が賑わいます。



未来へと続く まちづくり

Town Planning for a Bright Future



淡路島ロングライド 150

Awaji Island "Long Ride 150"

「あわイチ」としてサイクリングファンから注目されている淡路島。一周150kmの起伏に富んだコースを楽しく時には苦しく、潮風を浴びながら走ります。

集い、交わり、賑わう

淡路島は五畿八道の一つ南海道が通り、多くの人や物が古くから行きかう地です。今は阪神間から車を走らせれば1時間あまりで海山の景色と四季折々の食を楽しむ人気スポットとなっています。そんな魅力を生かし、洲本市では、ここに暮らす人、遊びに来る人が楽しめるさまざまなイベントが催されています。

また、歴史的なつながりや市民レベルではじまった交流が姉妹都市提携となって発展、相互の交流も盛んに行われています。

Events and Exchanges

Since ancient times Awaji Island has fostered exchanges of people and goods. Today it takes little more than one hour from Osaka to reach the sea and mountains of the island, where one can enjoy popular spots and great food in every season. Sumoto hosts many fun events for citizens and visitors alike and upholds historical connections through mutual exchanges with other cities, both within Japan and abroad.

農業

畜産業

漁業

企業

観光

栄える
生業

Flourishing Local Industry

A warm climate and good soil create the conditions for abundant agriculture. The livestock industry raises top-quality Japanese Black cattle as the birthplace of Kobe Beef. The fishing industry is blessed by fresh tides surrounding the island. Other industries include precision machinery and battery production. Tourism also flourishes, especially to the hot springs in Sumata.

温暖な気候と土壌を生かした農業。松坂牛や神戸牛のふるさととして、黒毛和牛を育む畜産業。そして大阪湾と瀬戸内海に面し、豊かな魚場に恵まれた漁業。いろいろな食材に恵まれた御食国です。一方、精密工業や電池製造などの企業。洲本温泉に代表される観光業も盛んです。

大昭和精機株式会社(淡路第3工場)
五色地域の企業団地には東大阪市に本社のある大昭和精機が進出し、優れた技術力と創造力で高品質な製品を全世界に送り届けています。

ミサキ電機株式会社五色工場(本社)
一般住宅用照明から店舗用照明・大型施設照明まで経済性の高い高機能な製品を開発・製造しています。

パナソニックグループ三洋電機株式会社洲本工場
パソコン・小型デバイス・車載用二次電池の研究・開発・生産をしています。

大切に伝える まつりの風景

まちの歴史や先人たちの想いが
詰まった伝統行事。
これからも未来へと伝えます。



淡路島まつり
Awaji Island Festival

毎年8月初めの週末に3日間行われる淡路島最大の夏祭りイベント。3日目の花火大会には、島内外から約7万人が観客に訪れます。

都志の長林寺夏祭り
The Chuzi Temple Summer Festival

人を乗せたままだんじりを上下左右にひっくり返す「つかいだんじり」で有名な祭り。人々の歓声が会場を包み込みます。

洲本の弁天まつり
The Misaki Festival

厳島神社で行われる祭りで、メインイベントの御神幸では、かけ声をかけながらご神体を担いでまちを練り歩きます。

下内膳の火踊り
The Dance of Shikokan

鎌倉時代から伝わるといわれる鼓の送り火。熊鷹で飾った松明（たいまつ）に火を付けて振り回す奇祭です。

鳥飼八幡宮秋祭り
The Torikae Hachiman Shrine Autumn Festival

鳥飼八幡宮の例祭。大きな船だんじりが、かけ声とともに神社の船殿をゆつくり上がっていく様子は圧力満点です。

高田屋嘉兵衛まつり
Takayama Kabei Festival

五色町都志では、毎年8月15日に嘉兵衛まつりを開催する高田屋嘉兵衛まつりが行われ、大勢の人でにぎわいます。

由良の夏越まつり
The Nagoshi Festival

みこし神輿を担ぐ男衆に水を豪快にかけて厄を払うお祭りです。沿道から水を幾度となくかけられながら、まちを練り歩きます。

伝統のまつり

地域に残る祭りや行事には、歴史や先人たちのまちを想う心が詰まっています。大綱を引き合う鳥飼八幡宮秋祭りや、水を豪快にかけて厄を払う由良の夏越まつり、だんじりを上下左右にひっくり返す都志の長林寺夏祭り、洲本厳島神社の弁天まつり。淡路島まつりは島内最大の夏祭りイベントです。どの祭りも、まちにはなくてはならない伝統ある祭りです。祭りの当日は、参加者、見物客問わず、大変な賑わいを見せます。

Traditional Festivals

Festivals serve as bridges from the past to the future and are lots of fun, too!

Everyone can come and participate in our festivals, which include the autumn festival at Torikae Hachiman Shrine; the Nagoshi Festival held in Yura in the summer featuring lots of water splashing; the "upside-down" float summer festival at Chozin-ji Temple; and the Benien Festival at Irukashima Shrine; not to forget the Awaji Island Festival, which is the largest summer event on the island.

Foods Galore

Our large variety of local delicacies keep people coming back for more!

Awaji Island was known as a breadbasket for the Emperor in ancient times. Producing wonderful foods is still part of the island culture, from fresh seafood to our famous onions, the highest class of Japanese Black beef, well-ripened fruit, and more. Enjoy these foods at local restaurants or buy them at shops that carry our local products.

菜の花・ひまわりオイル

Rapeseed oil, sunflower seed oil

菜の花・ひまわりから採った良質の油
菜の花・ひまわりから作り出された油は香り豊かで、人気の商品です。

さわら

Sawara (Xeromacron)

口の中でとろける
触感が絶妙

瀬戸内海で水揚げ量の多い魚。よく脂ののったさわらの刺身は、口の中でとろける独特の触感が特徴です。

淡路ビーフ

Awaji Beef

ジューシーなお肉

淡路ビーフは「霜降り肉」の最高峰。熱を加えると、肉の甘みと脂肪の香りが溶け合い、和牛ならではの柔らかい舌触りが特徴です。

玉ねぎ

Onions

肉厚で甘い
淡路島の名産

淡路島といえば玉ねぎ。洲本市でもいろいろな場所で栽培されています。肉厚で甘みがあると好評です。

特産品盛り合わせ

Assorted local products

バラエティにあふれた品々
いかなごの釘煮やちりめん、のりなどの水産加工品のほか、米や地酒、手延べうどんなど幅広い産物がそろっています。

食の魅力

多種多様な特産品が勢ぞろい。
一度食べれば、また食べたくなるおいしさです。

いちご

Strawberries

大粒の実が魅力的

五色地域を中心に、「さちのか」「紅はっぺ」が栽培され、神戸、明石方面の市場や島内に出荷されています。

いちじく

Figs

気候に適した果実

淡路島の温暖な気候が生育に適しているいちじく。毎年のシーズンになるといちじく狩りも楽しめます。

いかなご

Ikanago (sand lance)

洲本産の釘煮は最高級品

淡路島でも水揚げ量の多い魚。コナ(いかなごの稚魚)を使用した洲本産の釘煮は、最高級品と評されています。

さざえあわび・ウニ

Turban shells, abalones and sea urchins

新鮮さが売り

豊かな海に恵まれているまちだからこそ、新鮮な海の幸を思う存分味わうことができます。

ハモ

Hamo (Common Japanese conger eel)

言わずと知れた高級食材

淡路島近海で獲れるハモは、夏の高級食材として京阪神に出荷されています。

魅力いっぱい
御食国

淡路島は、はるか万葉の時代、朝廷に食糧を献上する「御食国（みけつくに）」と呼ばれていました。都人を魅了した食材の素晴らしさは、現在も変わりません。
新鮮な魚介類をはじめ、淡路島の一大特産品である玉ねぎ、霜降り肉の最高峰である黒毛和牛、甘く熟れた果物など、多岐にわたる特産品を出荷しています。これらは、市内のレストランや物産販売所などで味わうことができます。



施設紹介

文化・体育施設

市民交流センター 陸上競技場

☎0799-23-1716

洲本市宇原 1807
利用時間▶9:00～日没
定休日▶月曜日(祝日のときは翌日)12/28～1/4
主な設備▶陸上競技場



洲本図書館

☎0799-22-0712

洲本市塩屋 1-1-8
利用時間▶10:00～18:00(7・8月は19:00まで)
定休日▶月曜日(祝日のときは翌日)、館内整理日、12/28～1/4、特別整理期間



淡路文化史料館

☎0799-24-3331

洲本市山手 1-1-27
利用時間▶9:00～17:00(入館は16:30まで)
定休日▶月曜日、祝日の翌日、12/28～1/4
主な設備▶源始古代から近代までの歴史資料、民俗・美術工芸・文学などの展示



五色台運動公園『アスパ五色』

☎0799-34-1177

洲本市五色町鳥飼 2613
利用時間▶9:00～22:00
定休日▶水曜日(祝日のときは翌日)12/29～1/3
主な設備▶体育館、サッカー場、パークゴルフ場



1. アスパ五色
2. パークゴルフ

市民交流センター

☎0799-24-4450

洲本市宇原 1788-1
利用時間▶9:00～21:00
定休日▶月曜日(祝日のときは翌日)、12/28～1/4
主な設備▶ホール、体育館、会議室、視聴覚室等



市民交流センター 野球場

☎0799-22-6792

洲本市宇原 1809
利用時間▶9:00～21:00
定休日▶月曜日(祝日のときは翌日)12/28～1/4
主な設備▶野球場



五色図書館

☎0799-32-1693

洲本市五色町南谷 59
利用時間▶10:00～18:00
定休日▶月曜日(祝日のときは翌日)、館内整理日、12/28～1/4、特別整理期間



高田屋嘉兵衛記念館

☎0799-33-0464

洲本市五色町都志 241
利用時間▶10:00～16:00
定休日▶月曜日(祝日のときは翌日)、12/29～1/3
主な設備▶高田屋嘉兵衛資料展示

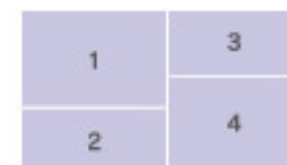


洲本市文化体育館

メインアリーナ(しおさい館)、文化ホール(しばえもん座)、コミュニティアリーナ、道場

☎0799-25-3321 洲本市塩屋 1-1-17

利用時間▶9:00～21:00 定休日▶火曜日(祝日のときは翌日)12/29～1/3
主な設備▶ホール、体育館、会議室、トレーニングルーム等



1. メインアリーナ 2. 道場
3. 会議室 4. 文化ホール



高田屋嘉兵衛公園 ウェルネスパーク五色

☎0799-33-1600 代 洲本市五色町都志 1087

GOGO ドーム

☎0799-33-0343

洲本市五色町都志 1087
利用時間▶9:00～21:00
定休日▶第二木曜日
主な設備▶テニスコート、ゲートボール、フットサルコート

菜の花ホール

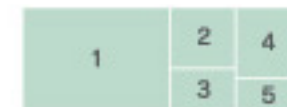
☎0799-33-0354

洲本市五色町都志 1087
利用時間▶10:00～17:00
定休日▶不定休
主な設備▶高田屋嘉兵衛資料展示

夢工房

☎0799-33-1540

洲本市五色町都志 1087
利用時間▶9:00～17:00
定休日▶第二木曜日
主な設備▶体験教室



1. わんぱく広場
2. GOGO ドーム
3. 菜の花ホール
4. 雪と希望の館
5. 夢工房



これまで紹介してきたのは
洲本市の魅力のほんの一部です。
地図を片手に、まちを
体感してみませんか。



市のシンボル

The city Symbols



市章

City Emblem

洲本は、往古海浜の洲にあったため、地名を「洲本」と呼ぶようになりました。これにちなんで、洲浜の鯨をもって市章と定めています。



市の花 水仙

City Flower: Daffodil

海岸部の山の斜面など、市内各所に自生しています。真冬の寒風に耐え、清純な白い花を咲かせます。



市の花 菜の花

City Flower: Rape blossoms

油菜・菜種とも呼ばれ、種子からは良質の油が採れます。本市ではこの油を利用して、機織にやさしいまちづくりに取り組んでいます。一面黄色に染まった菜の花畑は春の風物詩です。



市の木 松

City Tree: Pine tree

古くから長寿の象徴と尊ばれる常緑の高木。白砂青松100選に選ばれている大浜海岸の松林は有名です。



市の鳥 千鳥

City Bird: Plover

～浜路島 通ふ千鳥の鳴く声に静夜寝覚めぬ須磨の閑守～『小倉百人一首』にも詠まれた水鳥で島の海岸部に生息しています。



市の魚 鱈(さわら)

City Fish: Sawara (Sierra)

春、産卵のため太平洋から瀬戸内海へ回遊する高級魚。昔から食され、親しまれている魚です。

北の海に飛躍した傑物

高田屋嘉兵衛

Takataya Kahe

高田屋嘉兵衛は明和6(1769)年、郡志(現在の洲本市五色町)に生まれました。船乗りをめざして兵庫に出て、樽廻船の水主を皮切りに卓越した航海技術を発揮して出世。28歳で当時最大級の1,500石積の「辰悦丸」を建造し、船持船頭として海運業に乗り出します。その後、嘉兵衛は北海道の函館を拠点に択捉航路の開拓や交易で大活躍し「海の豪商」と呼ばれました。

嘉兵衛の名を歴史に残したのはロシア海軍のゴローニン艦長らが国後島で幕府の役人に捕らえられたゴローニン事件の際、その報復に嘉兵衛ら5人がロシア海軍に拿捕され、カムチャッカへ連行されました。あわや日露間の紛争へと発展しかねない大事件でしたが、嘉兵衛は抑留の身でありながらもリコルド艦長らと信頼を築き、この日露間の事件を平和的に解決します。事件の顛末はゴローニン艦長やリコルド艦長が記した「日本幽囚記」「対日折衝記」で西欧諸国に紹介され、「日本にはあらゆる意味で人間という崇高な名で呼ぶに相応しい人物がいる」(リコルド)と嘉兵衛を評しています。

また、司馬遼太郎が嘉兵衛を主人公に小説『菜の花の沖』を書き、平成12年には、竹中直人主演でNHKのテレビドラマにもなりました。



嘉兵衛肖像画



辰悦丸模型



リコルドと嘉兵衛の対談像



水墨画の基礎を作った画僧

きっさん みんちょう

吉山明兆

Kissan Minchō

文和元(1352)年、物部(現在の洲本市物部)に生まれた室町時代の画僧。東福寺の殿主であったため、兆殿司と称されました。作品には国宝である「溪陰小築園」ほか「五百羅漢図」「大涅槃図」などがあります。(いずれも重要文化財)



明治・大正期の自然主義作家

いわの ほうめい

岩野泡鳴

Iwano Houmei

明治6(1873)年、馬場町(現在の洲本市海岸通)に生まれた詩人・作家です。明治、大正期に自然主義作家として活躍し、多彩な活動分野と特異な作風から多くの愛好者がいます。代表作は「耽溺」「放浪」などがあります。



永久磁石の発明者

みしま とくしち

三島徳七

Mishima Tokushichi

明治26(1893)年、広石(現在の洲本市五色町)に生まれた冶金学者です。昭和6(1931)年に発明したMK鋼(磁石)は発電機や通信機などに広く使われ、我が国の産業や科学技術の発展に貢献。文化勲章を受章しました。



日本を代表するヒットメーカー

あく ゆう

阿久悠

Akiyū

昭和12(1937)年、帖原(現在の洲本市五色町)に生まれた作家・作詞家です。テレビ番組「スター誕生」に企画・審査員として携わり、ヒットの仕掛け人として活躍。生涯に作詞した曲は5,000曲以上にもなる日本を代表する作詞家です。

Prominent personalities originated from the City of Sumoto

郷土が生んだ偉人